

令和7年度私立短期大学入試広報担当者研修会 テーマ別分科会C報告書

テーマ：高校訪問・高大連携・地域連携

コーディネーター

育英短期大学	桂 健太郎	委員
豊橋創造大学短期大学部	平松 靖一郎	委員
京都経済短期大学	神内 千絵	委員

【Ⅰ テーマ別分科会の目的】

本分科会では「高校訪問・高大連携・地域連携」をテーマに掲げ、参加者同士が業務上の課題を共有し、各々の募集改善へと向け意見交流を行う。また、具体的な取り組み事例とその成果・効果等を情報交換することで、自学の業務に活かすヒントや気づきを得る場とする。

【Ⅱ 実施方法】

- ・オンライン開催 Zoomのブレイクアウトルームを使用
- ・実施時間 テーマ別分科会1 11:20～12:00
テーマ別分科会2 14:00～14:30
- ・参加人数 31名（申込ベース）

【Ⅲ 実施内容】

◆テーマ別分科会1（11:20～12:00）

運営委員より、自学における「高校訪問・高大連携・地域連携」の取組状況や具体的事例、また、高校進路指導担当教員からの高校訪問に関するアンケート内容（出典：ユニヴ・プレス）等を共有し、話題提供を行った。

◆テーマ別分科会2（14:00～14:30）

テーマ別分科会1の後に実施された小規模分科会1（1グループ4名程度）において、講演やテーマ別分科会1で提供された話題に関して出された意見を、各グループの進行役より紹介し、全体で共有した。最後に、小規模分科会2にて1と同グループで、他グループの報告を踏まえた意見交流を行った。なお、小規模分科会の際、運営委員は各小規模分科会へ状況把握のために入った。

【Ⅳ 総括】

テーマ別分科会2の各進行役からの報告及びアンケート内容より、どの小規模分科会においても活発な意見交換が行われていたことが分かる。内容としては、主に「高校訪問」について話を深めていたグループが多く、「いかに高校に認知してもらい、自学の

「教学内容に興味を持ってもらえるか」、そのために「いかに高校の要望に応えられるか」を重要視しているという意見も複数あった。

「高大連携・地域連携」については、どの短期大学もそれほど注力できていない様子が伺える一方、「地域に求められる高等教育機関である必要性」、「専門学校との差別化」、「若年層（小中学生）もステークホルダーと捉えたナーチャリングの重要性」といった認識は、共通してどの短期大学にもあり、「高大連携・地域連携」の必要性が垣間見える場面もあった。

また、テーマに関する意見交流はもとより、それにとどまらない幅広い課題について、他学と共有や議論がなされている様子も見られた。アンケートでは、総じて概ねよい評価を受けており、テーマ別分科会及び小規模分科会が課題を共有し、共に考え、研鑽し合える有意義な場となったことが推察できる。一部、「もう少し時間があると良いと思った」「（小規模分科会について）もう少し人数を多く設定してもらえたら、もう少し色々な方の意見も聞けた」という意見もあり、この機会により多くの学びときっかけを得たいという参加者の強い意気込みと熱意が感じられた。